

比較構文の様々な用法について

前回の本欄では比較表現を取り上げましたが、読者の方からいつもより少し難しかったとのご意見をいただきました。今回は比較構文について基本的だけれど初級の教科書ではあまり詳しく扱われていない点について触れることにします。

まず、不規則な比較級を見てみましょう。初級の教科書では、スペイン語の比較級は形容詞や副詞に《más》、《menos》を付けて作る、と説明されています。もちろんその通りです。しかし、そもそもこの《más》、《menos》自体が不規則な比較級なのです。

mucho → **más** **poco** → **menos**
(多くの) (より多くの) (少ない) (より少ない)

他の不規則な比較級を見てみましょう。

grande → **mayor** **pequeño** → **menor**
(大きい) (より大きい) (小さい) (より小さい)

bueno / bien → **mejor** **malo / mal** → **peor**
(よい / よく) (よりよい) (悪い / 悪く) (より悪い)

《mejor》と《peor》は形容詞としても副詞としても使われます。

Me alegro de que mi abuelo se encuentre **mejor** que la semana pasada.

祖父が先週よりよくなっていて嬉しい。

あまり取り上げられることがない比較級に《antes》と《después》があります。時間的に「より以前」「より後」という意味です。

Me pareció que el nadador japonés llegó **antes** que su rival americano.

私には日本人選手がライバルのアメリカ人選手より早くゴールしたように見えた。

ところでラテン比較を知っていますか。スペイン語の元となったラテン語では、másを付けて比較級を作ったわけではありません。語尾自体が変化したのです。その名残がスペイン語にもあります。《-ior》で終わる形容詞がそれです。例えば、《superior》「もっと上に」という比較級です。他にも《inferior》、《anterior》、《posterior》、《interior》、《exterior》などがそうです(「senior」「junior」は語彙としてはスペイン語に残っています。ちなみにseñorの語源です)。ラテン比較は《que》ではなく《a》を伴うのが特徴です。

El nivel del español de tu novia es **superior al** tuyo.

君の彼女のスペイン語レベルは君より上だ。

比較を表す動詞があると言ったら驚かれるかもしれません。《preferir》のことです。これもラテン語から受け継いだラテン比較の一種ですので、前置詞《a》を使って、《preferir “A” a “B”》「BよりもむしろAを好む」と使います。

Ella siempre **ha preferido el pescado a la carne**.

彼女はいつも肉よりも魚を好んだ。

続いて「異同」を表す比較を見てみましょう。

「～と同じ」という意を表す構文として《el mismo ~ que》があります。《mismo》は定冠詞を伴うことに注意してください。

Yo tengo **la misma** edad **que** tu hermana.

私は君のお姉さんと同い年だ。

定冠詞が中性の《lo》のこともよくあります。

Me da **lo mismo** verte mañana que hoy, pero mañana es mejor.

君に今日会うのも明日会うのも私には同じだが、明日の方がよい。

よく似た意味を表すものに《igual ~ que》(～と同等)があります。

Ella estudiaba **igual** por la mañana **que** por la tarde.

彼女は午前も午後も同様に勉強していた。

次に逆の意味を持つ《otro ~ que》(～とは別の)を見てみましょう。

Al gobierno no le queda **otro** remedio **que** subir el impuesto sobre el consumo.

政府には消費税を上げるしか方法が残っていない。

これとほぼ同じ意味を《no más ~ que》で表すことがあります。

Mi hermano **no** compra **más** CDs **que** los de AKB48.

弟はAKB48のCDしか買わない。

この場合「より多くのCD」ではなく「他のCD」という意味で使われていることに注意です。

最後に《tanto ~ como》「～も～も」と2つの要素両方を並べて肯定する表現を見てみましょう。元々同等比較表現から派生したもののですが、tantoが変化しないのが特徴です。

En Galicia llueve **tanto** en verano **como** en invierno.

ガリシアでは夏も冬も雨が降る。

tantoが変化している場合は、本来の同等比較の用法と考えられます。次の文を比べてみましょう。

Aquí vienen **tanto** turistas europeos **como** asiáticos.

《tanto》は《turistas》に一致しない

ここにはヨーロッパの観光客もアジアの観光客もやってくる。

Aquí vienen **tantos** turistas europeos **como** asiáticos.

《tanto》は《turistas》に一致

ここにはアジアの観光客と同じくらいヨーロッパの観光客がやってくる。

いかがでしたか。スペイン語は本当に表現力が豊かだと思いませんか。それでは今回はこれくらいで。¡Hasta la vista!

文 仲井邦佳



仲井邦佳

なかいくによし/Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。

京都イスパニア学研究会会長。専門はスペイン語学。

著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語 一文法と演習』(共著、同学社)などがある。